

第48回

箱館

五稜郭祭



開催日
2017年

5/20^土21^日

主催：箱館五稜郭祭協賛会

後援：函館市・函館商工会議所・(一社)函館国際観光コンベンション協会
協力：陸上自衛隊第28普通科連隊・陸上自衛隊第11音楽隊

日本の夜明け



ペリー一提督

アメリカ東インド艦隊司令長官として、1853年(嘉永6年)6月、マシューペリー提督は軍艦4隻を率いて浦賀沖に来航。日本に開国を求め、内陸に向けられた備砲からは数多くの空砲が撃たれ、江戸市民を驚かせるとともに多くの見物客を集めた。翌1854年3月、日米和親条約が締結。開港が決まった箱館(同年4月に来航した。1858年、64歳にて没)。



榎本武揚

1836年(天保7年)江戸下谷生まれ。幕府海軍伝習所を経てオランダに留学。帰国後は幕府海軍副総裁に。1868年(明治元年)の江戸城明け渡し後、艦隊と旧幕府を占拠して箱館に渡り五稜郭を支配。旧幕府家臣による蝦夷地開拓を目指す、新政府軍との戦いに敗れ降伏。後に開拓使出仕となり千島樺太交換条約を締結した。1908年(明治41年)、72歳にて没。



土方歳三

1835年(天保6年)武州多摩郡石田村、現在の東京都日野市に生まれる。文久3年の幕府兵募集に参加して上洛。同郷の近藤勇と新選組を結成し副長となる。鳥羽伏見の戦いで、敗走から会津・仙台へと転戦。そこで榎本艦隊と合流し蝦夷地へ向かう。1869年(明治2年)5月11日、新政府軍による箱館総攻撃の際に銃撃を受け、35歳の若さで壮烈な最期を遂げる。



黒田了介(清隆)

1840年(天保11年)鹿児島城下に下級武士の長男として誕生。箱館戦争では征討軍の陸軍参謀として、箱館総攻撃を指揮。五稜郭落城寸前、榎本武揚から「万国海洋全書」を贈られ、その翻訳という大義のもと榎本の救命活動を行った。戊辰戦争後は北海道の開拓に尽力し、1888年(明治21年)内閣総理大臣となった。1900年(明治33年)、61歳にて没。

五稜郭の歴史

- ◆一八五七年(安政四年) 五稜郭の工事着工。
- ◆一八六四年(元治元年) 五稜郭の工事が完了し、箱館奉行所が郭内に開庁。
- ◆一八六八年(明治元年) 榎本武揚、幕府残存艦隊(開港以下八隻に、幕軍諸艦)千を乗せ十月十日(旧暦、蝦夷地暦)木下現森町に上陸。
- ◆同十月二十四日 箱館知事清水公考、五稜郭を放棄し青森に退却。
- ◆同十月二十六日 榎本軍の大鳥居七重道を経て五稜郭に入城。結城川山道より土方歳三入城。土方の指揮下にあった額兵隊、陸軍隊も翌日入城。
- ◆同十月十五日 土方歳三の指揮する新選組、額兵隊、陸軍隊等の諸隊七百名の猛攻により松前城落城。
- ◆同十月十五日 松前攻撃を支援する榎本軍の軍艦「開港」が江差で座礁、破壊。
- ◆同十一月十五日 画期的な入札制度(選挙)により榎本総裁以下閣僚を退出。室蘭に開拓奉行江差・松前には鎮守を置き、榎本軍は全蝦夷地を平定。

◆蝦夷地経営の中心としての五稜郭◆

1853年(嘉永5年)、M.C.ペリー提督率いるアメリカ艦隊の来航により、翌年、幕府は日米和親条約を締結。開港場となった箱館に、幕府は箱館奉行を派遣しました。

箱館奉行の任務は開港場の統治や諸外国との対応、蝦夷地の開拓など多岐にわたり、特徴的な地形により防衛上の問題があることとされた箱館の防備強化も急がれました。奉行は、箱館山麓で港からも至近の位置にある奉行所庁舎の内陸への移転を計画。庁舎を防備する城塞の建設には西洋式の築城技術が採用され、1857年(安

政4年)工事に着手した城塞は、その形から「五稜郭」と呼ばれました。

8年に及ぶ工事期間を経て、1864年(元治元年)6月、五稜郭内に移転した「御役所」(奉行所)が開庁。五稜郭は蝦夷地経営の中心地、外交の最前線となったのです。

その後五稜郭は、箱館戦争の激動を経て、1914年(大正3年)には公園として開放され、以来、市民の憩いの場となって親しまれています。また、1922年(大正11年)には国の史跡、1952年(昭和27年)には特別史跡に指定され、幕末、明



4年間の工期をかけて、往時の建築を忠実に再現した箱館奉行所(2010年完成)

治維新の歴史を物語る文化財として、2010年(平成22年)には、1871年(明治4年)に解体された旧奉行所庁舎が郭内に復元されました。

- ◆一八六九年(明治二年) 榎本軍の追討令を発令し、明治新政府は、黒田了介に陸軍参謀山田中右之丞に海陸軍参謀を命じ軍を集結させる。
- ◆同三月二十五日 榎本軍は政府軍の軍艦「甲鉄」を奪取するため、北上途中の寄港地宮古湾でこれを襲撃するが失敗。
- ◆同四月九日 新政府軍第二陣(之部村)上陸。
- ◆同四月十二日(二十五日) 二股口守備の土方歳三隊、銃撃戦で政府軍の進撃を食い止める。
- ◆同五月十一日 政府軍箱館総攻撃開始。
- ◆土方歳三戦死。
- ◆同五月十六日 千代岱砲台陥落。
- ◆中島三郎助父子戦死。
- ◆同五月十八日 榎本軍降伏。五稜郭開城。
- ◆一八七二年(明治四年) 奉行所庁舎を解体。
- ◆一九一四年(大正三年) 公園として一般に開放。
- ◆一九二二年(大正十一年) 国の史跡に指定。
- ◆一九五二年(昭和二十七年) 国の特別史跡に指定。
- ◆二〇一〇年(平成二十二年) 奉行所庁舎の部を復元公開。
- ◆二〇一四年(平成二十六年) 五稜郭築造五〇年

官軍側は二の勝に對し、白有一對針

維新行列の見所

一 箱館開港事始め

維新行列の先頭は箱館奉行所の旗手。旗は天地を表す黒い二本の線と日の丸です。続いて、竹内下野守保徳、堀織部正利熙、村垣淡路守範正の初期箱館奉行、五稜郭の設計・監督者である箱館諸術調所教授武田斐三郎成章、最後の箱館奉行杉浦兵庫頭誠、そして「箱館奉行所槍隊」です。

次いで、アメリカのベルリ提督および旗手、アメリカ海軍儀仗兵。さらにロシア公使ブチャーチン海軍中将と旗手、ロシア海軍儀仗兵。イギリス公使パークスと旗手、イギリス海軍儀仗兵。フランス公使ロッシユと旗手、フランス海軍儀仗兵。そしてオランダ商館長クルティウスと旗手、オランダ海軍儀仗兵と続きます。

なお、実際に箱館に來航した人物はベルリ提督とブチャーチン中将ですが、以上の5カ国が、いち早く徳川幕府と修好通商条約、いわゆる「安政の五カ国条約」の締結に成功し、箱館は国際貿易港として開港されることとなります。

開港事始めの最後を飾るのは軍楽隊(五稜郭部隊)です。

二 榎本政権誕生

榎本軍の先頭は星恂太郎が指揮する赤服金モールの「仙台額兵隊」。英国式訓練を受けた部隊です。次に登場するのは「伝習歩兵隊」。仏軍より派遣された教官団によって訓練された幕府正規軍です。

榎本軍の行列中央、三ツ葉葵の旗を先頭に、総裁榎本武揚、副総裁松平太郎、海軍奉行荒井郁之助の閣僚が続きます。次に登場するのは春日左衛門率いる「幕府陸軍隊」です。百六十名が蝦夷地へ渡り、各地で奮戦します。次いで宮古湾海戦の斬込姿を再現した「海軍伝習士官隊」が行進します。

次に登場する○印の浅葱色陣羽織の一隊は「会津遊撃隊」。隊長諏訪常吉以下七〇名は、会津の降伏を潔しとせず、脱藩して榎本軍に合流。隊長の諏訪は矢不來の戦いで負傷、箱館病院で没します。

続くは「衝鋒隊」。隊長の古屋佐左衛門は洋学兵学を学び幕府歩兵隊指図役に。大政奉還後は兵を募り奥羽越を転戦後、榎本軍に合流し蝦夷地に進駐。五稜郭で新政府軍の艦砲射撃を受けて負傷、戦没。

次は中島町にその名を残す「千代ヶ岡警備中島隊」。隊長中島三郎助は長崎海軍伝習所一期生で榎本の先輩。浦賀奉行所与力時代、ベルリに面接したその人です。

そして、誠の旗を先頭に颯爽と登場するのは「新選組」。先頭の袖無陣羽織姿は陸軍奉行並土方歳三を警護する部隊であった「蝦夷新選組」で、後ろの白山形だんだら染めの羽織姿は京都時代の新選組です。

三 征討軍(官軍)上陸

いよいよ明治新政府の征討軍の登場。先頭を切るのは官軍のシンボル「錦の御旗」を奉戴する「錦旗護衛隊」です。

征討第一軍を率いるのは海陸軍参謀、長州藩山田市之丞、薩長両藩の士官がそれに続きます。黒地に赤線軍服は長州藩、鉄紺に黒線が薩摩藩です。

続いて武田菱の家紋がついた黒陣笠に黒羽織の一隊、官軍尖兵の「松前正義隊」が登場します。佐幕派の松前藩政に不満を持っていた、下国東一郎、三上超順ら少壮武士団を母体とする松前正義隊。一八六八年八月一日にクーデターに成功し、藩論を一拳に勤王に統一。以来官軍蝦夷進攻の尖兵として活躍しました。

次いで「箱館府兵隊」が登場。明治元年閏四月、箱館府知事として赴任した清水谷公考は、箱館奉行より五稜郭を接收。しかし兵力がないため現地募兵したのが箱館府兵隊です。清水谷府知事と、彼を護衛する「府知事御親兵」が続いて登場。御親兵とは明治新政府直属の軍隊で、後の近代的軍隊の礎となるものです。

さらに軍監有地静馬が率いる「津輕藩士官隊」が登場。勇壮果敢な武運を誇り、戦功第一と評される働きを残しました。

征討軍の中央には、陸軍参謀黒田了介、海軍参謀増田虎之助、軍監前田雅楽、軍監田島敬蔵等の幕僚に諸藩の将が続きます。

官軍の指揮官が頭に被っているのは「シヤグマ」と呼ばれ、赤・黒・白の各色があり、戊辰戦争期特有の官軍の装束です。

なお、当時の軍服は幕府軍も官軍も似たようなもの。その識別のため、官軍側は二の腕に錦の印布「錦巾(きんきり)」をつけていました。

四 開陽と黒船

維新行列の最後に華を添える山車は、幕府がオランダに発注して建造した当時最強の軍艦「開陽」と、幕府に開国を迫ったベルリ提督の黒船の一隻「ポーハタン」です。この維新行列は大道具、小道具に至るまで、資料に基づきできるだけ時代考証のうえ制作。しかし祭りでもあるため、多少の演出も施していますことをご了承ください。

さらに、五稜郭公園内特設ステージでの「開城セレモニー」もお楽しみください。



箱館之図(函館市中央図書館蔵)



第48回

箱館 五稜郭祭

5/20^土

碑前祭

- ◆「中島三郎助父子最後之地」碑前 ————— 10時～
- ◆「碧血碑」前 ————— 10時50分～
- ◆「土方歳三最期之地」碑前 ————— 11時30分～
- ◆五稜郭タワー「箱館戦争供養塔」前 ————— 12時～

五稜郭タワーアトリウムの催事

- 箱館五稜郭祭記念式典 ————— 13時～
- ◆開会宣言 ◆主催者挨拶 ◆錦旗授与 ほか
- 土方歳三コンテスト全国大会 ————— 13時15分～

前夜祭

- ◆土方歳三コンテスト ————— 18時～
優勝者紹介・歓迎レセプション

5/21^日

維新行列・音楽パレード

- ◆中島町廉売通り ————— 13時スタート
維新行列出発地点
- ▼
- ◆千代台公園
音楽パレード出発地点
- ▼
- ◆行啓通り ————— 13時15分～14時30分
戦闘シーンのパフォーマンス
- ▼
- ◆五稜郭公園特設舞台開城セレモニー など

開城セレモニー

- ◆五稜郭公園特設ステージ ————— 15時ころ～

※開催において多少の変更がある場合もございます。